

ディベート・マッチ「消費税は必要か」－否定側の反対質問①－

否定側から肯定側への反対質問

司会 作戦をやめてください。では、否定側の反対質問に移ります。時間は8分です。

安藤（否） 消費税のために小銭が多くなり、財布が重くなるのですが、それはどうすればいいのですか。

高橋（肯） 今はコンビニエンスストアなどでもカードというものができています。だから、推測ですが、今後そのような心配はなくなるのではないのでしょうか。

安藤（否） 作るのに時間がかかるし、カードも使えば使うほどなくなるのだから、しかも、カードを僕たちは使えないのではないのでしょうか。18才以上から使えるのではないですか。

菅野（肯） そういうふう以小銭とかはめんどくさいと言っていれば、国民としてやっていけるのでしょうか。

黒須（否） 別なことに移りますが、消費税は立論で述べた逆進性が問題になっていますが、その対策にはどのようなことがあるのですか。

高橋（肯） 政府は税金から生活保障などによって、所得の再分配ということをしております。それで、低所得者に所得が再分配されることによって十分ではありませんが、できるだけ平等に近くなるのではないのでしょうか。

黒須（否） どのくらい平等に近くなっていくのですか。

高橋（肯） そこまでは、さすがに資料不足で調べられませんが、今は十分ではないにしろ今後は絶対、そういう対策がなされていくのではないのでしょうか。

黒須（否） それでは、今の現在の低所得者がかわいそうです。

高橋（肯） さっき、1千万円に対して30万円は高所得者にとっては少しのものだが、サラリーマンにとっては大きいものと言いました。しかし、消費税がないにしてもサラリーマンにとっては1千万円は高いし、年収2千万円の人にとってはさして差し支えがないものなので、消費税がなくても全体に占める割合は変わらないのではないのでしょうか。

柴木（否） 消費税で損したことはありますか。

高橋（肯） 損をするとは具体的にどのようなことですか。

黒須（否） 立論でも述べたように、消費税分のお金を持ってこないがために、自分の欲しいものを買えなかったようなことです。

高橋（肯） 自分の欲しいものを買いにいくのであれば、少しは消費税というものが始まってかなり年月が経っているんですからその分を考慮するはずですし、それにぴったりのお金を持っていくわけではありませんし、予備費から払えばいいのではないのでしょうか。